

琉銀支店を 防災拠点に 県警、消防と覚書

琉球銀行は、地域社会に貢献する新たな取り組みとして「琉球銀行地域安全サポートランチ」を始める。66の支店や出張所を「防災の地域拠点」として活用するもので、県警、那覇市消防本部と連携し、3日、那覇市の同行本店で覚書を結んだ。



「琉球銀行安全サポートランチ開設」の覚書締結式＝3日、那覇市の琉球銀行本店

AED(自動体外式除細動器)を順次整備していく。同行によると、銀行が警察・消防と一緒に、安全な地域づくりに取り組むのは、九州で初の試みという。

今後、支店の一部スペースを広報用に提供するほか、非常用食料の備蓄、

読んで
広がる
NIE

基礎だ。三者の連携によって、これまでの社会活動よりも広く深く活動していきたい」と意気込みを語った。